

令和5年度 シラバス

学年	教科	教材
1年	社会科	〈地理的分野〉 ・教科書「新しい社会 地理」(東京書籍) ・「中学校社会科地図」(帝国書院) ・副教材「社会の自主学習 地理1」(新学社) 〈歴史的分野〉 ・教科書「新しい社会 歴史」(東京書籍) ・副教材「社会の自主学習 歴史1」(新学社)

1. 学習の目標

- ・文化の起こりから発展に向けて、どのような人の営みが行われていったのか考察し、歴史の編成を理解できるようになる。
- ・人々の営みの中で、地域での特色や国家の形成、政治体系の完成について歴史的な流れを理解する力を身につける。
- ・個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。
- ・現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。

2. 学習の方法

- ・教科書の内容を中心に進めながら、現在の社会的な事象なども絡めて学習します。積極的に発言をして取り組むことが大切です。
- ・グループ学習など協力して課題に取り組む授業も取り入れます。積極的に協力し合う力を高めましょう。
- ・課題も多く、地道な作業も多いと思いますが、社会的事象に興味や関心をもつことが学習をスムーズに進めるポイントです。
- ・授業で配るプリント類は、必ず整理してノートに貼りましょう。
- ・プリント、ワークは、基本的に家庭学習で役立てましょう。
- ・日々の復習が大切です。定期テスト1週間前には、提出物を完成させておきましょう。授業での積極に取り組む姿勢と計画的に家庭学習に取り組むことを期待しています。

3. 評価の観点と評価方法

評価の観点	評価の方法
知識・技能	定期テスト・課題・小テスト(主として知識・資料活用を問うもの) など
思考・判断・表現	定期テスト・課題・小テスト(主として思考力・判断力を問うもの) など
主体的に学習に取り組む態度	定期テスト・提出物(ノート等)・学習に取り組む意欲・学習態度 など

4. 年間指導計画

月	単元・題材名	主な学習内容	学習のねらい
4	〈地理的分野〉 世界と日本の姿	世界の姿	地球表面のようすを地球儀や世界地図を活用してとらえ、地球上の位置や表し方や球面場の位置関係をとらえることができる。また、世界の地域区分や国々の名称と位置などを知り、大まかな世界地図をかくことができる。
5	世界のさまざまな諸地域	世界各地の人々の生活と環境	世界各地における人々の生活のようすとその変容について、自然および社会的条件と関連づけて考察させ、世界の人々の生活や環境の多様性を理解する。
6	世界のさまざまな諸地域	世界の諸地域 アジア州	世界一の人口集中地域であるアジア州の特色を、巨大な人口と急速な経済発展に注目して、追求し理解する。

7	世界のさまざまな諸地域	世界の諸地域 ヨーロッパ州	古い歴史があり、多くの民族や国が集まるヨーロッパの特色を、国境を越えた結びつきによる変化に注目して、追求し理解する。
9	世界のさまざまな諸地域	世界の諸地域 アフリカ州	長い間、他国の支配を受けてきたアフリカ州の特色を、人々の生活の変化と自立への課題に注目して、追求し理解する。
		世界の諸地域 北アメリカ州	さまざまな民族が集まることで国が形作られてきた北アメリカ州の特色を、世界に影響を与える産業と文化に注目して、追求し理解する。
		世界の諸地域 南アメリカ州	豊かな自然が広がる南アメリカ州の特色を、急速に進んでいる開発とそれにとまなう環境問題に注目して、追求し理解する。
10	世界のさまざまな諸地域	世界の諸地域 オセアニア州	多くの人に移り住んできたオセアニア州の特色を多文化社会の形成と味との結びつきに注目して、追求し理解する。
	<歴史的分野> 歴史へのとびら	歴史をとらえる見方・考え方	時代区分や年代の表し方についての基本的な内容や、歴史的視点や思考の方法を理解する。
11	古代までの日本	世界の古代文明と宗教のおこり	世界の各地で人々が農耕や牧畜を基盤に築いた諸文明には、生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展などの共通する特色があることを理解する。また、仏教やキリスト教、イスラム教などの宗教が起こった地域が、それぞれインドや西アジアなどの世界の文明地域と重なることを理解する。
	古代までの日本	日本列島の誕生と大陸の交流	狩猟・採集を行っていた人々の生活が農耕の広まりとともに変化していったことや、自然崇拜や農耕儀礼などにもとづく信仰が人々の中に生きていたことを理解する。また、ヤマト王権による国内の統一と大陸から移住してきた人々が我が国の社会に果たした役割を結びつけて理解する。
	古代までの日本	古代国家の歩みと東アジア	大陸の文物や制度を積極的に取り入れながら国家のしくみが整えられたことを、聖徳太子の政治や大化の改新など、律令国家の確立に至るまでの過程を通して、理解できる。また、大陸から伝わった仏教が我が国の文化のさまざまな面に影響を及ぼしたことに気づき、国際的な要素を持った文化が栄えたことを理解する。 天皇や貴族の政治の展開を、摂関政治などを通して理解する。また摂関政治をはじめ、平安京における貴族の生活の特色をとらえ、日本独自の文化が生まれた背景を考察する。
12			

1	中世の日本	武士政権の成立	<p>武士が台頭し、やがて主従の結びつきや武力を背景にして投獄の武家政権が確立したことを理解し、古代から中世への転換のようすを、古代の天皇や貴族の政治との違いに着目して考え、自分の言葉で表現できる。</p>
2	中世の日本	ユーラシアの動きと武士の政治の展開	<p>元寇、日明貿易、琉球の国際的役割などから、東アジア世界との密接な関わりや、それが国内に及ぼした影響を理解する。</p> <p>農業などの諸産業の発達や畿内を中心とした都市や農村における自治的なしくみの成立が、当時の社会の大きな変化であることに気づき、人々の生活が向上したことや商品流通が活性化したことを理解する。武家政治の展開や民衆の成長を背景に文化が生まれたことを理解する。</p>
3	日本のさまざまな地域	日本の地域的特色と地域区分	<p>世界視野や日本全体の視野からみた日本の地域的特色を取りあげ、我が国の国土の特色を自然環境の視点から大観できる。</p>
時期不定	〈歴史的分野〉 身近な地域の歴史	歴史の調べ方 まとめ・発表の仕方	<p>身近な地域の歴史を調べる学習を通して、地域の中で受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、地域の具体的なことがらのなかで、わが国の歴史を理解し、調べ方やまとめ・発表の仕方を学習できる。</p>
時期不定	〈地理的分野〉 地域調査の手法		<p>身近な地域の歴史を調べる学習を通して、地域の中で受け継がれてきた伝統や文化への関心を高め、地域の具体的なことがらのなかで、わが国の歴史を理解し、調べ方やまとめ・発表の仕方を学習できる。</p>